

【世田谷区洪水ハザードマップ 全区版】



世田谷区洪水ハザードマップについて

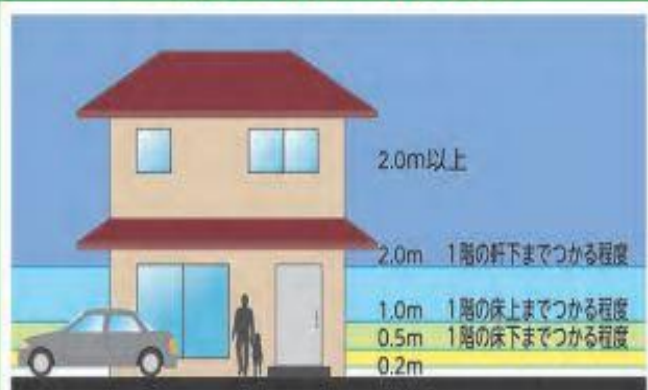
世田谷区では、区民の皆さんに水害に関する情報を提供し、事前の備えに役立てていただくことを目的に、浸水の予想される区域や浸水の程度、避難所等の情報を記載した世田谷区洪水ハザードマップ（多摩川版・全区版）を作成しています。

水害などの自然災害に対しては、日頃からの備えがとても重要です。洪水ハザードマップをご活用いただき、いざというときに備えて自宅周辺の地理や避難所の位置を確認し、家族で避難時の行動を話し合っておくなど、日頃からの備えをお願いいたします。

洪水ハザードマップは、想定した降雨量に基づいたシミュレーションの結果であり、あくまで避難の際の目安としてご利用いただくものです。

個々の住宅における浸水の程度を示すものではありませんので、ご承知おきください。 世田谷区 令和元年9月

浸水の深さの目安



全区版について

全区版は、東京都と都内中小河川流域の区市町村で構成する「都市型水害対策連絡会」が公表した「城南地区河川流域浸水予想区域図」および「野川、仙川、谷沢川及び丸子川流域浸水予想区域図」（想定雨量：いずれも平成12年9月発生の東海豪雨、総雨量589mm、時間最大雨量114mm）をもとに、多摩川を除く区内中小河川流域における浸水予想区域や浸水の程度、避難所等を示したものです。